

2021年度

私費外国人留学生 募集要項

新型コロナウイルス関連により、募集要項の掲載内容に変更がある場合は、本学Webサイト「入試情報」において随時公表します。以下のサイトで最新の入試情報を確認するようにしてください。

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions> （該当の募集要項掲載ページをご覧ください。）



大阪市立大学

目 次

本学の理念、基本方針、ポリシー	3
〔1〕学部・学科別募集人員	9
〔2〕出 願 資 格	9
① 出願に必要な「日本留学試験」の受験科目及び得点	10
② 「日本留学試験」(日本語以外の科目)の出題言語	11
〔3〕出 願 手 続	11
1 出願方法	11
2 出願期間	11
3 入学検定料の支払い方法	12
4 出願書類等	13
5 郵送が必要な出願書類等の提出方法及び送付先	14
6 受験票等の送付	14
7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願	14
〔4〕選 抜 方 法	14
(1) 「日本留学試験」及び個別学力検査等の教科・科目、配点	14
(2) 個別学力検査等	14
〔5〕2 段 階 選 抜	15
〔6〕合 格 者 発 表 等	15
1 合格者発表	15
2 合格通知書・入学手続書類等の交付	16
〔7〕入 学 手 続 等	16
1 入学手続	16
2 入学手続に持ってくるもの	16
3 入学料の納付	16
4 入学許可	16
5 学 費	16
〔8〕注 意 事 項	18
1 出願及び受験関係について	18
2 個人情報の取り扱いについて	18
3 その他事項について	18
別表1 「日本留学試験」及び個別学力検査等の教科・科目、配点	19
別表2 「日本留学試験」及び個別学力検査等特別日程試験の教科・科目、配点	22
別表3 個別学力検査等時間割	25
別表4 個別学力検査等会場	26
キャンパスマップ・交通案内図	27
問い合わせ先	28

○本学の理念、基本方針、ポリシー

大阪市立大学の理念

- 大学の普遍的使命－優れた人材の育成と真理の探究－の達成
- 市民の誇りとなる大学
 - ・都市を学問創造の場としてとらえ、都市の諸問題に英知を結集して正面から取り組む。
 - ・教育及び研究の成果を都市と市民に還元し、地域社会及び国際社会の発展に寄与する。
- 市民に親しまれる大学
 - ・都市型総合大学として、都市・大阪の伝統と文化を継承する。
 - ・自由で創造的な教育と研究及び高水準の医療を推進する。
 - ・市民とともに、都市の文化、経済、産業、医療などの諸機能の向上を図り、真の豊かさの実現をめざす。

教育の基本方針

- 都市・大阪を背景とした市民の大学という理念に立脚
- 人類の幸福と発展に貢献
- 様々な分野で指導的役割を果たし、社会で活躍する人材の育成

研究の基本方針

- 新しい知の創造をめざす独創的で特色ある研究を推進
- 都市が抱える様々な課題に取り組み、成果を都市と市民に還元し、地域社会の発展に寄与
- 新しい産業を生み出す芽となる研究を推進し、その成果を社会に還元

人材育成の目標像

優れた専門性、実践性、国際性を有し、総合的な判断力と豊かな人間性を備え、社会に積極的に参加する市民的公共性を持った人材の育成

【大阪市立大学の教育の特色と目標】

大阪市立大学は、1880年の大阪商業講習所設立に始まり、日本で初めて市立の大学として発足した旧制の大阪商科大学を経て、今日まで続く長い歴史と伝統を持つ公立大学です。公立では数少ない総合大学であり、高い水準の多様な学問研究を基盤とする研究大学として歩むとともに、「理論と実際との有機的な連結を重視する学風」や市井の精神に発した自主独立・自由進取の気風を重んじて、大阪の発展や日本と世界の未来を担う人間を長年育成してきました。

大阪市立大学は、これらの伝統を生かしつつ、8学部11研究科の多彩な学問分野にわたる総合大学として、国際的かつ個性的で多様な研究の場を活かしながら、高度で闊達な少人数教育を行っています。多様な課題を抱える大阪や日本ひいては世界の調和と発展に貢献するために、真善美の価値判断を身につけ、英知と市民的公共性を備え、多様な他者と協働しながら、地域・社会の様々な分野で指導的役割を果たせる、次世代の人間の育成をめざしています。

〈大阪市立大学 学士課程の3ポリシー〉

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

大阪市立大学は、学士課程教育を通して、現代人として必要な基本的教養の修得と国際感覚の練磨をめざした教育を行うとともに、専門知識と総合的知識の双方を基礎にして物事を思索し、理解力、洞察力、実践力、指導力、解決力および品性を兼ね備えた人間を育成します。

この目標を達成するために、所属学部において定める専門分野に関する知識・技能等を身につけ、学部の教育理念や目的に沿った指導を受け、所定の期間在学して所定の単位を修得し、審査や試験に合格した学生に学位を授与します。また、全ての学生が、[知識・理解] [技能] [実践的姿勢] [統合的な学修経験と創造的思考力]の領域で以下のような学修成果を修めることをめざします。

【知識・理解】

- ・多文化・異文化を尊重し、理解を深めることができる。
- ・人間と文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康に関する知識を尊重し、理解を深めることができる。
- ・高度な専門知識を体系的に学び、それに基づき柔軟な思考ができる。

【技能】

- ・日本語と特定の外国語を用いて、それぞれに求められる水準で読み、書き、聞き、話し、他者とコミュニケーションをすることができる。
- ・情報通信技術（ICT）などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- ・情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考（クリティカル・シンキング）を行い、その結果を言語や記号で表現することができる。
- ・問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを修得し、その問題の解決に立ち向かう実践力を身につけることができる。

【実践的姿勢】

- ・自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
- ・他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
- ・地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
- ・自ら学ぶ姿勢を身につけ、生涯にわたって進んで学習できる。

【統合的な学修経験と創造的思考力】

- ・これまでに修得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

1. 「現代人として必要な基本的教養の修得と国際感覚の練磨をめざした教育を行うとともに、専門知識と総合的知識の双方を基礎にして物事を思索し、理解力、洞察力、実践力、指導力、解決力および品性を兼ね備えた全人的人材を養成する」との大阪市立大学憲章に基づき、すべての学部で学ぶ学生が、「ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果」に示された知識・技能等を修得できるように、次の科目群を全学共通教育科目として設置します。学生は自らの学修意欲と興味関心、キャリアデザインに応じて、また各学部が定める履修規程に従って受講科目を選択します。
 - (1) 大学教育全般の基礎となる学習・研究能力の育成、広い視野に立った総合的な判断力の育成、現代社会に生きる人間に求められる普遍性をもつ教養の修得を目的とした総合教育科目
 - (2) 英語と英語以外の外国語科目
 - (3) 数学をはじめ自然科学分野の基礎教育科目
 - (4) 健康・スポーツ科学に関する知識・技能を育成する科目
2. 地域に基盤を置く公立大学で学ぶ学生としての意識を涵養するため、地域志向系科目をすべての学生が履修できるように学士課程全体を通じて配置します。
3. 地域で学ぶ社会の一員としての意識や国際的な視野を持ち、グローバル化し複雑・多様化する社会にあって、その変革に積極的に関与するために必要な知識・技能や実践的姿勢等を身につける体系的な教育プログラム（副専攻等）を、自らのキャリアデザインに応じて履修できるようにします。
4. 各学部では、学生がそれぞれの学問領域における高度な専門知識を学び、各領域の知識を踏まえつつも柔軟な思考を身につけることができるようにカリキュラムを編成します。その際には学修成果の〔技能〕と〔実践的姿勢〕を伸長させるように、それぞれの学問的特色に応じて授業方法等を工夫します。
5. 各学部の特色に応じて、4年間（医学部医学科は6年間）の学修を統合的に総括する教育を行いません。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

大阪市立大学は、学士課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施します。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待します。

- (1) 高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。
- (2) 本学の全学共通教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認します。
- (3) 各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認します。

〈商学部〉

〈求める学生像〉

「考える実学」教育の方針のもと、実社会について旺盛な探求心と世界的視野を持って学修し、その成果をもって経済社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲と能力のある、人間性豊かな人を求めます。

〈入学者選抜の基本方針〉

日本留学試験で、日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では、学ぶ意欲と商学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

〈経済学部〉

〈求める学生像〉

経済学部は、高等学校教育段階において人文・社会・自然科学を均衡のとれた仕方で学び、グローバルな経済・社会が直面している問題に関心を抱き、他者とのコミュニケーションや共同の取り組みに対して意欲的な人を受け入れます。

〈入学者選抜の基本方針〉

日本留学試験では日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では経済学部での学修に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの獲得水準と学ぶ意欲を、それぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

〈法学部〉

〈求める学生像〉

1. 新しい問題に果敢に取り組む知的好奇心を持つ人
2. 自分を相対化するための想像力と豊かな人間性を持つ人
3. 相手の意見を的確に理解し、自分の意見を論理的に構成して、正確に表現・文章化する能力を持つ人
4. 法学・政治学の専門的知識を身につけるために必要な一般教養を有する人

〈入学者選抜の基本方針〉

日本留学試験では日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では法学部での勉学に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの獲得水準と学ぶ意欲をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

〈文学部〉

〈求める学生像〉

- ・人間の思考と社会・文化の生成発展について考えてみたい人
- ・人間行動の原理と社会のしくみについて考えてみたい人
- ・さまざまな言語や文学・芸術について考えてみたい人
- ・さまざまな文化的営みを社会のなかで活かす方法を考えてみたい人
- ・論理的思考を鍛え新しいものの見方を求めようとする人

〈入学者選抜の基本方針〉

日本留学試験で、日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では、学ぶ意欲と文学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

〈理学部〉

数学科

〈求める学生像〉

- ・数学のアイデアに感動し、さらに深く探りたいと思っている人
- ・定理や公式の証明あるいはこれらを使った計算を、よりよく理解したいと願っている人
- ・過去に分らないままだった数学の内容について、疑問を抱き、粘り強く考えたい人
- ・さまざまな科学のなかで用いられる数理的な方法や捉え方に関心のある人
- ・数学のなかに見れる言葉（概念）や論理のもつ特有の普遍性や美しさが好きな人

〈入学者選抜の基本方針〉

入学試験において次を確認します。

私費外国人留学生選抜では、日本留学試験と個別学力検査等により、高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。

物理学科

〈求める学生像〉

物理学を理解する基礎学力を有する人で、以下のいずれかに当てはまる学生を求めます。

- ・自然のなりたちや美しさに興味を抱いている人
- ・ものごとの基本原理を理解したい人
- ・実験や観察に工夫をすることや、ものを作るのが好きな人
- ・集中して考え続けるのが好きな人

〈入学者選抜の基本方針〉

入学試験では、次の点を確認します。

私費外国人留学生選抜では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。

化学科

〈求める学生像〉

化学科は、自然科学の基本原理の理解に必要な基礎学力を有する人で、次のような学生を求めています。

- ・向学心旺盛で、化学の専門知識・概念を科学・産業・文化・社会の発展に役立てたいと考えている人
- ・自然現象を化学的に解明したいという知的好奇心をもった人

〈入学者選抜の基本方針〉

1. 私費外国人留学生選抜では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。
2. 本学の全学共通教育に対応できる学力を備えていることを確認します。
3. 化学科のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認します。

生物学科

〈求める学生像〉

生物学科は、自然科学の基本原理の理解に必要な基礎学力を有する人で、次のような学生を求めています。

- ・生物・生命現象に対して深い興味をもっている人

- ・生物・生命現象の法則性の解明に情熱をもっている人
- ・生物・生命現象に関わる専門知識に基づいて社会に貢献したいと思っている人

〈入学者選抜の基本方針〉

入学試験は、次の方針で行います。

1. 私費外国人留学生選抜では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。
2. 本学の全学共通教育に十分に対応できる基礎学力や学習能力を備えていることを確認します。
3. 生物学科の上記のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認します。

地球学科

〈求める学生像〉

地球学科は理学部の1学科として、次のような学生を求めています。

- ・地球への好奇心や探求心の旺盛な人
- ・地球の法則性を解明しようとする意欲に満ちた人
- ・地球に関係する分野で社会に貢献したいと希望している人

〈入学者選抜の基本方針〉

入学試験は、次の方針で行います。

1. 私費外国人留学生選抜では高等学校教育課程で習熟が必須とされる基礎学力ならびに日本語の読解力と聴解力を確認します。
2. 本学の全学共通教育に十分に対応できる学力を備えていることを確認します。

工学部

〈求める学生像〉

工学部では、社会のさまざまな課題と将来について深い関心を持ち、その課題発見と解決に貢献し、更に21世紀の科学技術や社会の発展に貢献しようという強い意欲と向上心に溢れる学生を、以下に示す各学科のポリシーに基づいて広く受け入れます。

機械工学科

〈求める学生像〉

今日の機械工学が扱う複雑な問題の解決には、様々な視点からのアプローチが不可欠となっています。そこで機械工学科では、原子・分子レベルのナノ・ミクロスケールから、環境・社会などのマクロスケールまで横断的に捉えた特色あるカリキュラムを提供し、色々な視点から問題を考察できる能力の育成をめざしています。そのため本学科では、以下のような人を求めています。

1. ものづくり、物理や数学、人・社会・環境に興味がある人
2. 次世代の先端材料の開発や機械の創成に意欲のある人
3. 機械工学を学ぶのに必要な基礎学力（特に数学、理科、外国語）を有する人
4. 論理的なものごとを考え、自ら問題解決をはかる意思のある人
5. 様々な人と意見交換ができ、協力して課題に取り組むことができる人

電子・物理工学科

〈求める学生像〉

電子・物理工学科は、電子工学や半導体工学、ナノマテリアルや物質表面構造を含む新たな電子・光機能性材料の開拓、光と物質の相互作用や光を利用した工学（物質の発光機構、太陽電池、レーザー、テラヘルツ電磁波など）、またそれらの基礎となる物性理論、と多岐にわたる先端的研究開発を支える技術者や研究者の育成をめざしており、次のような意欲的な学生を求めます。

1. 物理学や電気・電子工学に興味があり、それを幅広い工学に応用することに深い関心を持つ人
2. 物質、電気、光などの物理学的性質の解明と新規機能の開拓、実験的また理論的解明などの幅広い電子・物理の科学技術に強い興味を持ち、主体的かつ積極的に学習・研究する意欲に溢れた人
3. 国際的な視野から新たな課題を見出し、それに積極的に挑戦する意欲を持つ人
4. 日本語や英語などによるコミュニケーション、プレゼンテーション能力の向上に努め、グローバルに工学分野への貢献を目指す人

電気情報工学科

〈求める学生像〉

高度な情報化社会を迎え、広い視野と電気・電子・情報工学などを基礎とし、エレクトロニクス、コンピュータ、情報処理、通信、制御などの幅広い関連技術に関する柔軟な応用能力を身につけた研究者・技術者が望まれています。電気情報工学科では、電気および情報・通信関係の広範囲な問題に対処する適応能力を習得し、さらに、未知の問題を自らの手で解決していく自主性と独創性を持つ技術者・研究者の育成を目標としています。そのため本学科では次のような人を求めています。

1. 電気工学および情報工学分野に対する興味と探究心が旺盛で、新しい分野を切り拓く技術への研究開発に熱意のある人。意欲を持って幅広い分野の勉学ができる人

2. プログラムや電子回路などの「ものづくり」を得意とする人、あるいは身近な情報通信機器のしくみに強い興味を持ち、より利便性が高い機器を研究開発してみたいという意欲が旺盛な人。また、電子機器やロボットの制御に興味のある人
3. 自主・自立の精神が旺盛で、広い視野を持ち、倫理観のある人。社会の中で自分だけでなく他人をも活かす気持ちを持ち、それに向けて努力できる人

化学バイオ工学科

〈求める学生像〉

化学バイオ工学科では、物質・生命およびその変化を原子・分子レベルや遺伝子・細胞レベルで理解できる基本的考え方を身につけ、化学・バイオに関わる基礎理論と技術の実際を学びます。さらに、化学・バイオの先端領域で活躍し、かつ技術者としての責任感・倫理観を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成することをめざしています。そのため本学科ではいずれの選抜方法においても、次のような人を求めています。

1. 化学・バイオについての基礎知識を理解できる能力を有し、意欲的に勉学に取り組める人
2. 化学現象や生命現象に対する興味と探究心が強く、新技術の開発に熱意を有する人
3. 実験や自然観察が好きな人
4. 論理的な記述、論理的な発表力など、研究能力とともにコミュニケーション能力を高めることに努力する人
5. 幅広い教養の習得に熱意をもち、倫理観のある人

建築学科

〈求める学生像〉

建築学科は幅広い分野に対応しており、以下のいずれかの素養や能力を有する多様な人材を求めています。

1. より良い人間生活と社会づくりに向けて、建築や社会の問題を解決するための幅広い知識と技術の修得に意欲のある人
2. 探究心が旺盛で、人間・社会・自然界で生じるさまざまなできごとや、それを支える仕組みに興味のある人
3. 建築という形のあるものを創り出すことや、それを実現するための学術・芸術・技術に対する興味と意欲のある人
4. 立体的な思考が得意で、ものづくりや空間への興味・関心が高く、創造力の豊かな人
5. 自分の意見を相手に伝えるコミュニケーション能力の向上に対する意欲のある人
6. 建築学に関する専門科目を習得するのに必要な一定レベルの学力があり、人文・社会科学、文化、歴史など幅広い分野に興味のある人

都市学科

〈求める学生像〉

都市学科では、社会の要請を的確に把握し、倫理観と責任感に基づいて主体的に行動する「環境都市づくり」のプロフェッショナル育成を目指します。そのため、以下のような素養や能力を有する人を求めています。

1. 社会・文化・生活などと関係する都市の多様性を理解し、複眼的な視野で物事を捉えることができる人
2. 歴史や文化を継承しつつ機能的で美しい都市づくりに興味を持っている人
3. 都市圏における環境の保全・再生や自然との共生に強い関心があり、自律・循環可能な都市の創出に貢献したい人
4. 災害に強く、人々が安全・安心・快適に暮らすことができる都市を創生するための技術やマネジメントに興味を持っている人
5. 自主的に調査・実験や演習に取組み、環境や都市に係わる課題を認識・抽出して問題を解決することに努力をいとわない人
6. 技術の開発・適用に必要な理数系科目だけでなく、国際的な視野と人間の行動様式に関わる語学や社会科学系科目にも興味・関心が高い人

〈入学選抜の基本方針〉

日本留学試験で、日本語能力及び基礎学力を、個別学力検査等では、学ぶ意欲と工学部での学修に十分に対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、成績証明書とあわせて総合的に評価します。

〈生活科学部〉

〈求める学生像〉

人間生活の多様な側面を科学的に追究し、研究や実践を通じて、現代社会における生活問題の改善や解決、新しいライフスタイルの提案や構築、人々の生活の質の向上に貢献する意欲を持つ人を求めます。

食品栄養科学科

〈求める学生像〉

本学科では、学科の学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、大阪市立大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下の入学者受入れ方針を設定し、優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

- (1) 高等学校教育段階で設定されている数学、理科、外国語の基礎学力と応用力を確認します。
- (2) 本学の全学共通教育や本学部内の横断的な科目の履修に対応できる幅広い基礎学力を確認します。
- (3) さらに、本学科のディプロマ・ポリシーを達成し得る資質として、小論文や面接などを課す多様な選抜も行い、以下の様な項目を確認します。

〈入学者選抜の基本方針〉

- 1) 食品と栄養に関する分野に関心が高く、探究心旺盛で、論理的な思考力をもとに、将来、食と栄養の分野で活躍する熱意。
- 2) 環境や社会の仕組み、現代社会の食と栄養がヒトの健康に与える影響に関心があり、食生活に起因する諸問題を解決したいという意欲。
- 3) 病院、行政、小中学校における栄養学の実践に対する興味。
- 4) 大学院等で、さらに高度な専門的知識と能力を身につけ、大学教員、高度専門技術者や指導的立場を担う臨床栄養士を目指す意志。

居住環境学科

〈求める学生像〉

本学科は、新たな居住環境の創造・管理に積極的に取り組む意欲にあふれた人を求める。具体的には、次のような目的意識や勉学意欲を備えた人を受入れる。

- (1) 住む人、使う人の立場に立って居住環境に対する諸要求を把握し、その実現を目指す人
- (2) 居住環境を取り巻く社会問題・環境問題を思考し、主体的にその解決を目指す人
- (3) 図面を書き、模型をつくるという創作・表現活動に積極的に取り組む人
- (4) いろいろな立場や考え方の人と協力・協働しながら、適切な判断を行い、ものごとを進めようとする人
- (5) 大学内外で居住環境に関する知識を積極的に学習する人
- (6) 文科系科目以外の数学、物理学、化学などの学習に積極的に取り組む人
- (7) 卒業後、大学院修士課程に進学し、さらに高度な「専門的職業人」を目指す人

(1)は、居住環境学科の教育理念に基づく一番重要な点である。

(2)～(4)については、必ずしも全部を入学時点で満たしている必要はなく、入学後の自学自習によって獲得できる。

(7)については、必ずしも全員が満たしている必要はない。

人間福祉学科

〈求める学生像〉

本学科では、学士課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、人とかかわり、人を支えることに興味をもち、福祉課題の解決に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

そのために、本学科の学士課程では、以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施します。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待します。

〈入学者選抜の基本方針〉

- (1) 高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。
- (2) 本学の全学共通教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認します。
- (3) 人間福祉学科における教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認します。
 - ・基礎的なコミュニケーション能力を備えていることを確認します。
 - ・人権を尊重する姿勢を備えていることを確認します。

※ ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、以下をご参照ください。

https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/admission_policy/



〔1〕 学部・学科別募集人員

学 部	学 科	募集人員
商 学 部 (注1)	商 学 科	若干名
	公共経営学科	
経 済 学 部	経 済 学 科	若干名
法 学 部	法 学 科	若干名
文 学 部 (注2)	哲学歴史学科	若干名
	人間行動学科	
	言語文化学科	
	文化構想学科	
理 学 部	数 学 科	若干名
	物 理 学 科	
	化 学 科	
	生 物 学 科	
	地 球 学 科	

学 部	学 科	募集人員
工 学 部	機 械 工 学 科	若干名
	電子・物理工学科	
	電気情報工学科	
	化学バイオ工学科	
	建 築 学 科	
	都 市 学 科	
生活科学部	食品栄養科学科	若干名
	居住環境学科	
	人間福祉学科	

※ 個別学力検査等の成績により合格者を出さない場合があります。

(注1) 商学部の学科決定は第2年次の前期に行います。
 なお、志望者多数の学科では、標準履修者数を基準として選抜を実施します。
 そのため、志望する学科に進めない場合があります。

(注2) 文学部の学科・コースの決定は第1年次の1月までに行います。決定に際して、志望者多数の学科・コースでは、学科定員と標準所属者数を基準として、選抜を実施します。そのため志望する学科・コースに進めない場合があります。また、社会調査士、認定心理士、公認心理師の資格については、指定するコースに所属しなければ取得することができません。

〔2〕 出 願 資 格

出願できる者は、次の(1)～(3)のすべてに該当する者です。

- (1) 日本国籍を有しない者
- (2) 次の各号のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2021年3月修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（ただし、12年の課程を要しない国からの出願資格については事前に相談してください）。
 - ② 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者で2021年3月31日までに18歳に達するもの
 - ③ 本学において、①に準ずると認めた者

注 ③により出願しようとする者は、事前に資格認定審査を行いますので、2020年11月9日(月)までに大学運営部入試課(電話 06-6605-2141 FAX 06-6605-2133)に申し出てください。申し出がない場合は、出願を受理できない場合があります。

- (3) 独立行政法人日本学生支援機構の「2019年度日本留学試験」の第1回（6月実施）、第2回（11月実施）及び2020年度の第2回（11月実施予定）のいずれかを受験した者で、下記に記載する**各学部所定の科目をすべて受験し、かつその得点が各学部が定める得点以上のもの**

①出願に必要な2019年度及び2020年度「日本留学試験」の受験科目及び得点

学部・学科		必要な科目	必要な得点
商学部		日本語 「読解」「聴解・聴読解」「記述」 理科から2科目選択又は総合科目 数学（コース1又はコース2）	「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）の合計得点が270点以上で、「理科（2科目）」又は「総合科目」と「数学（コース1又はコース2）」の合計得点が270点以上
経済学部		日本語 「読解」「聴解・聴読解」「記述」 総合科目 数学（コース1又はコース2）	「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）の合計得点が270点以上、「総合科目」の得点が100点以上で、「数学（コース1又はコース2）」の得点が100点以上
法学部		日本語 「読解」「聴解・聴読解」「記述」 総合科目 数学（コース1）	「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）・「総合科目」・「数学（コース1）」の合計得点が600点以上
文学部		日本語 「読解」「聴解・聴読解」「記述」 総合科目 数学（コース1）	「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」）の合計得点が200点以上、「日本語」（「記述」）の得点が33点以上で、「総合科目」と「数学（コース1）」の合計得点が240点以上
理学部		日本語 「読解」「聴解・聴読解」「記述」 理科 数学科、生物学科、地球学科は2科目選択 物理学科は物理必須、化学及び生物から1科目選択 化学科は化学必須、物理及び生物から1科目選択 数学（コース2）	「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）の合計得点が225点以上で、学科ごとに指定された「理科（2科目）」の科目と「数学（コース2）」の合計得点が240点以上
工学部		日本語 「読解」「聴解・聴読解」「記述」 理科 （物理及び化学必須） 数学（コース2）	「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）の合計得点が225点以上で、「理科（2科目＜物理・化学＞）」と「数学（コース2）」の合計得点が240点以上
生活科学部	食品栄養科学科	日本語 「読解」「聴解・聴読解」「記述」 理科 2科目選択 数学（コース1又はコース2）	「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」）の合計得点が200点以上、「日本語」（「記述」）の得点が25点以上で、「理科（2科目）」又は「総合科目」と「数学（コース1又はコース2）」の合計得点が240点以上
	居住環境学科	日本語 「読解」「聴解・聴読解」「記述」 理科から2科目選択又は総合科目 数学（コース1又はコース2）	
	人間福祉学科	日本語 「読解」「聴解・聴読解」「記述」 理科から2科目選択又は総合科目 数学（コース1）	

(注1) 「日本留学試験」の成績とは、「2019年度日本留学試験」の第1回（6月実施）受験者であれば2019年7月24日（水）に、第2回（11月実施）受験者であれば2019年12月20日（金）に独立行政法人日本学生支援機構より発送済の成績通知に記載されている得点をいいます。また、「2020年度日本留学試験」の第2回（11月実施予定）の成績については、独立行政法人日本学生支援機構より2020年12月18日（金）発送予定です。

なお、各科目の得点範囲は、次のとおりとなります。

日本語【読解 0～200点、聴解・聴読解 0～200点、記述 0～50点】

理科【2科目 0～200点】 総合科目【0～200点】 数学【0～200点】

(注2) 各学部・学科指定の「日本留学試験」の科目を受験していないと失格となります。

②「日本留学試験」（日本語以外の科目）の出題言語

- (1) 商学部・経済学部・生活科学部は、日本語又は英語
- (2) 法学部・文学部・理学部・工学部は、日本語

[3] 出願手続

1 出願方法

出願はインターネットにより行います。

本学Webサイトの入試情報からアクセスできます。

本学Webサイト：<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions>

下記、①から③全ての手続きを出願期間内に行ってください。

①インターネット出願登録	画面に従って、出願登録を行ってください。
②入学検定料の支払い	インターネット出願サイトの指示に従って入学検定料をお支払いください。 入学検定料の支払いにかかる手数料は志願者負担となります。
③出願確認票の印刷及び必要書類等の郵送	出願確認票をA4サイズの白紙に印刷してください。出願確認票を含む必要書類等を「書留速達郵便（EMS等を含む）」により出願期間内に大阪市立大学 大学運営部入試課へ郵送してください。

【注意】

インターネット出願登録だけでは出願手続きは完了しません。必ず13ページの「4 出願書類等」に記載のある必要書類を出願期間内に「書留速達郵便（EMS等を含む）」により郵送してください。

2 出願期間（日本標準時）

※ 必ず郵便局の窓口差し出して送付してください。

出願書類等に不備がある場合は、原則として受理しません。

インターネット出願登録期間 及び入学検定料支払い期間	2020年12月23日（水）10:00 ～ 2021年1月6日（水）17:00
出願に必要な書類の提出期間	2020年12月24日（木）～ 2021年1月6日（水） 【1月6日（水）日本国内の消印有効】 ※ 1月7日（木）以降に到着したもののうち消印がないものについては、1月6日（水）までに郵便局の窓口差し出されたことが確認できるもの限り受理します。海外から郵送の場合は、日本国内の郵便局等に到着した日を基準とします。

3 入学検定料の支払い方法

入学検定料：30,000円

支払方法は、クレジットカード、コンビニエンスストア、金融機関ATM（Pay-easy〔ペイジー〕）、ネットバンキングが利用可能です。詳しい支払い方法については、出願情報登録後の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。出願確認票（本人控）に記載された支払い期限までにお支払いください。**入学検定料の支払いにかかる手数料は志願者負担です。**

①クレジットカード【VISA、MasterCard など】

日本国内及び日本国外で利用可能。
登録と同時に決済が行われます。

②コンビニエンスストア

日本国内のみ利用可能。現金での支払いとなります。

セブンイレブン	レジで「払込票番号」を店員に伝えるか、印刷した「払込票」を渡して現金で支払う
ローソン、ミニストップ	「Loppi」で手続後、レジにて現金で支払う
ファミリーマート	「Famiポート」で手続後、レジにて現金で支払う
デイリーヤマザキ	レジで「オンライン決済」と店員に伝えて手続後、レジにて現金で支払う
セイコーマート	「クラブステーション」で手続後、レジにて現金で支払う

③金融機関ATM（Pay-easy）

日本国内のみ利用可能。

支払可能金融機関のPay-easyマークが付いているATMで支払うことができます。

ATMで「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続きしてください。

出願登録画面に表示される確認番号等はATMでの支払いの際必要となりますので、メモするか画面を印刷しておいてください。

④ネットバンキング

日本国内のみ利用可能。

都市銀行、地方銀行、信用金庫、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。**事前に金融機関にて申込みが必要**です。

また、楽天銀行、auじぶん銀行、住信SBIネット銀行でも支払うことができます。この場合、**事前に口座の開設が必要**です。

1. [ネットバンキングでの支払に進む]ボタンを押す。
 2. ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログイン後手続してください。
- ※上記の利用可能な金融機関は変更となる可能性があります。

4 出願書類等

以下の出願書類を取り揃え、必ず郵送してください。書類が届かない場合、出願は完了しません。出願書類は原則としてお返ししませんので、注意してください。

1	出願確認票 (大学提出用)	インターネット出願サイトの出願登録完了画面から印刷してください。※「出願受付番号」は受験番号ではありません。
2	卒業証明書 及び 成績証明書	外国における12年の課程を修了した最終出身学校長が作成したもの(修了見込みを含む)。 ※いずれも <u>原本</u> を提出してください。コピーでの提出は認めません。注
3	合格証明書 及び 成績証明書	出願資格(2)②に該当する者は当該検定の合格証明書及び成績証明書を提出してください。 ※いずれも <u>原本</u> を提出してください。コピーでの提出は認めません。注
4	受験票及び写真票	①「出願確認票」と一緒に出力される、受験票と写真票には、縦4cm×横3cmの 同じ写真 (上半身、無帽で出願日より3か月以内に撮影したもの)をそれぞれ貼ってください。 ②「出願確認票」と一緒に送付してください。
5	在留資格・期間を 証明する書類	日本国内に居住する者 「在留カード」の両面コピー又は市区町村が発行する「住民票の写し(原本:国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの)」を提出してください。 外国居住者又は短期滞在者 「パスポートのコピー」 写真・国籍・氏名が掲載されているページと上陸許可(短期滞在者のみ)が掲載されているページを提出してください。
6	受験票等 送付用封筒	【日本国内の住所へ受験票送付を希望する場合】 市販の 長形3号定形封筒(横12cm×縦23.5cm) に受験票送付先の郵便番号、住所(マンション、アパート名〇〇号室、〇〇方まで明記)及び氏名を記入し、 384円分の切手を貼り 提出してください。 【日本国内以外の住所へ受験票送付を希望する場合】 国際返信切手券(international reply coupon) 10枚を同封 してください。(封筒の同封は不要)
7	※法学部に 出願する者は 志望理由書	本学法学部をめざす動機並びに卒業後の進路について、所定の用紙に1,000字以内で記述してください。用紙は、本学Webサイトの「出願関係書類一覧」のページからダウンロードし、A4サイズの白紙に片面でプリントアウトしてください。 (https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/undergrad/gshorui) ※口述試験の参考資料として使用し、評価の対象としません。
8	※文学部に 出願する者は 志望理由書	本学文学部を志望する理由を、所定の用紙に記述してください。用紙は本学Webサイトの「出願関係書類一覧」のページからダウンロードし、A4サイズの白紙に片面でプリントアウトしてください。 (https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/undergrad/gshorui)
9	2019年度又は2020年度 日本留学試験成績通知書	「日本留学試験成績通知書」は次のいずれかを提出してください。 ● 2019年度第1回(6月分)実施 ● 2019年度第2回(11月分)実施 ● 2020年度第2回(11月分)実施 《コピーでも可》

注 和文又は英文以外のものについては、日本語又は英語に翻訳し、その内容が原本と相違ないことを公的機関(出身大学、日本語学校、大使館等)で証明を受けたものを一緒に提出してください。

5 郵送が必要な出願書類等の提出方法及び送付先

(1) 提出用封筒の準備

【日本国内から出願する場合】

必ず、**角形2号封筒**（横24cm×縦33.2cm A4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を使用してください。**長形3号定形封筒**（横12cm×縦23.5cm）は使用できません。「出願登録完了画面」からA4サイズの白紙に「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷（カラー印刷推奨）し、封筒の表に貼り付けてください。

【日本国外から出願する場合】

提出用封筒（A4サイズの書類を折らずに入れることができる大きさのもの）に「(3) 送付先」の住所を記載してください。

印刷した宛名ラベルは、出願書類と併せて封入し、EMS等配達状況が確認可能な国際宅配便で送付してください。

(2) 提出が必要な出願書類等の封入

提出が必要な出願書類等を「封筒貼付用宛名ラベル」にあるチェック表で確認し、必要な書類を封入してください。

(3) 送付先

出願期間内に「書留速達郵便（EMS等を含む）」により郵送してください。
必ず郵便局の窓口で差し出して送付してください。

送付先 〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
大阪市立大学 大学運営部入試課

※出願書類の配達状況については、追跡番号でご確認ください。電話、メール等での到着状況の問い合わせには一切応じません。

6 受験票等の送付

「受験票」「受験上の注意」等は2021年2月3日（水）頃に発送します。なお、到着しない場合及び「受験票」に誤りがある場合は、2月10日（水）から2月15日（月）までに学生サポートセンター出願学部教務担当（28ページ参照）に申し出てください。

第1段階選抜不合格者には、「不合格通知書」及び「入学検定料還付申請書・口座振替申出書」を送付します。

7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願

障がい等を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する場合は、2020年11月9日（月）までに、学生サポートセンター出願学部教務担当に申し出て相談してください。11月10日（火）以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り11月9日（月）までに申し出てください。

[4] 選 抜 方 法

選抜は、「日本留学試験」の成績、個別学力検査等の成績及び出願書類の内容を総合して行います。個別学力検査等で指定する教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、不合格になります。

(1) 「日本留学試験」及び個別学力検査等の教科・科目、配点

別表1（19～21ページ）のとおりです。

(2) 個別学力検査等

試験当日は、本学「受験票」、独立行政法人日本学生支援機構発行の「日本留学試験」の「受験票（出願時に提出した日本留学試験成績通知書と同じ回のもの）」並びに本学「受験上の注意」を持参してください。

① 試験教科・科目等は、別表1（19～21ページ）のとおりです。

② 実施日時 2021年2月25日（木）・26日（金）【商学部及び法学部は25日のみ実施】
各学部の実施日時及び試験時間割は、別表3（25ページ）のとおりです。

③ 試験会場は、別表4（26ページ）のとおりです。

なお、交通案内図等詳細については、後日送付する「受験上の注意」でお知らせします。

[5] 2 段階選抜

志願者数が商学部20名、文学部25名、工学部（建築学科10名、その他の各学科20名）を超えた場合、2段階選抜を実施することがあります。その場合は、「日本留学試験」の総合得点の成績上位者から第1段階選抜合格者を決定し、第1段階選抜合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます（上記以外の学部においては2段階選抜を実施しません）。

第1段階選抜の結果発表は、合格者には「受験票」を、不合格者には「不合格通知書」及び「入学検定料還付申請書・口座振替申出書」を、それぞれ発表日に発送することにより行います。

第1段階選抜の結果発表（郵便発送予定日）：2021年2月3日（水）

【個別学力検査等の特別日程試験について】

※2021年度私費外国人留学生選抜において、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合等で試験日当日に受験できなかった志願者を対象とした特別日程試験を実施します。

特別日程試験対象者：出願期間内に出願を受理した者のうち、新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者や、試験直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者。また、発熱・咳等の症状があり、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある者。あるいは、上陸拒否等により入国できず受験できなかった者。

※ただし、2段階選抜を実施する学部の志願者は、第1段階選抜合格者に限る。

申出期限：各試験実施期日の正午(12:00)までに入試課に申し出てください。
必要書類：PCR検査結果又は診断書、濃厚接触者であることの何らかの文書を有していればその写し等、あるいは上陸拒否等が立証できる書類の写しを各試験実施期日の翌日正午(12:00)までに入試課に提出してください。

※上記の方法で提出できない場合は申し出てください。

<提出期限>

2021年2月26日(金) 正午(12:00)

※2月26日(金)の口述試験のみ申し出る場合は2月27日(土) 正午(12:00)

選抜方法：「日本留学試験」の成績、個別学力検査等の成績及び出願書類の内容を総合して行います。

「日本留学試験」及び個別学力検査等の教科・科目、配点は別表2(22～24ページ)のとおりです。2月25日(木)及び2月26日(金)に実施する個別学力検査等と異なることがありますのでご注意ください。

※2月26日(金)の口述試験のみ特別日程試験にて受験する場合は、「日本留学試験」の成績、2月25日(木)に受験した筆答試験の成績、特別日程試験の口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。

特別日程試験日時：2021年3月22日(月) 試験会場及び試験時間については別途通知します。

合格者発表：2021年3月26日(金)

入学手続：2021年3月27日(土)

詳細は別途通知します。

[6] 合格者発表等

1 合格者発表

日 時	場 所
2021年3月8日(月) 10:00～3月15日(月) 17:00	学生サポートセンター メインホール

合格者の受験番号を掲示します。

ただし、12日(金)は他の選抜実施日のため、学内立入禁止となります。合格者の「受験番号」の学内掲示を見ることができませんので、ご注意ください。

Webサイトでの合格者発表

本学Webサイト (<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/announcement>) に、合格者受験番号の一覧を掲載します。

掲載期間：2021年3月8日(月)10:00～3月15日(月)17:00

注 いずれの発表方法についても、電話等による合否の照会には応じません。

2 合格通知書・入学手続書類等の交付

- (1) 日 時 2021年3月8日(月) 10:00~17:00
(2) 場 所 学生サポートセンター出願学部教務担当
(3) 内 容 合格者には、「合格通知書」、入学料「振込金兼手数料受取書／振込依頼書(銀行控)」、「預金口座振替依頼書／自動払込利用申込書」、「入学料・授業料」等の入学手続関係書類を交付します。その際には**本学「受験票」**の提示が必要です。代理人が受け取ることもできますが、その場合にも「受験票」が必要です。

合格者発表日に来学できないやむを得ない理由のある者は、発表日当日の17:00までに学生サポートセンター出願学部教務担当(28ページ参照)までご相談ください。

※商学部・経済学部・理学部に合格された方には、合格者発表日に「合格通知書」、入学料「振込金兼手数料受取書／振込依頼書(銀行控)」、「預金口座振替依頼書／自動払込利用申込書」、「入学料・授業料」等の入学手続関係書類を発送します(手渡しでの書類交付はありません)。入学手続日までの期間が短いため、海外在住の方は合格した学部の教務担当へ連絡してください。

[7] 入学手続等

入学手続は、入学手続日に直接来学して行ってください。なお、合格者本人が都合により入学手続を行うことができない場合は、代理人が行うこともできます。

入学手続日に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取扱い、その後の入学手続はできません。

1 入学手続

日 時	場 所
2021年3月19日(金) 10:00~15:00 (ただし、12:00~12:45を除く)	学生サポートセンター出願学部教務担当

2 入学手続に持ってくるもの

- (1) 合格通知書
(2) 入学料「振込金兼手数料受取書」
(3) 独立行政法人日本学生支援機構発行の「日本留学試験」の「受験票」
(4) 学生証用写真票(用紙は合格者発表日に交付します。)

3 入学料の納付

[6] 「2 合格通知書・入学手続書類等の交付」時にお渡しする「振込金兼手数料受取書／振込依頼書(銀行控)」により、入学手続日までに本学指定の口座に納めてください。

なお、下記「5 学費」欄の「大阪市民及びその子」に該当する者は、先に入学料納付区分認定手続を行ってください。

4 入学許可

入学手続完了者には、「入学許可書」を交付します。

5 学 費

現行の金額は次のとおりですが、2021年度入学者の金額・納付方法等については変更することがあります。

入 学 料	納付区分	大阪市民及びその子 (注1) (注2)	222,000円
		そ の 他 の 者	382,000円
授 業 料		年間535,800円	

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の金額が適用されます。

また、授業料は、〔6〕「2合格通知書・入学手続書類等の交付」時にお渡しする「預金口座振替依頼書／自動払込利用申込書」にてご登録いただく口座から、指定日に引落とります。

(注1) 「大阪市民及びその子」とは、入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父又は母が、入学日の1年以上前(2020年4月1日以前)から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。※日本国籍を有しない者も同一の要件です。

(注2) 「大阪市民及びその子」に該当する者は、本学所定の「入学料納付区分認定願」及び「住民票などの公的書類(2021年3月1日から入学料納付区分認定実施日までに交付を受けたもの)」を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は、合格者に交付する「入学料・授業料」を必ず参照してください。

なお、入学料納付区分認定を希望する者は、認定を受けてから入学料を納付してください。

【問い合わせ先】学生課授業料担当(TEL 06-6605-2054, FAX 06-6605-3648)

〔月～金曜日(祝日及び休業日を除く)9:00～17:00 ただし12:00～12:45を除く〕

※授業料については、経済的理由により納付が困難と認められる者に対する減免制度があり、申請は入学後から4月下旬にかけて国際センターで受け付けます。

ただし、経済的理由のほか、成績等の理由により審査を行う場合があります。

なお、2021年度以降の授業料減免については変更することがありますので、予めご了承ください。

【問い合わせ先】国際センター(TEL 06-6605-3558, FAX 06-6605-3592)

〔月～金曜日(祝日及び休業日を除く)9:00～17:00 ただし、12:00～12:45を除く〕

※既納の納付金は、還付いたしません。

《語学教育充実費》

入学後、全学共通科目の英語授業を履修する学生は、英語共通テスト等の語学教育充実費の費用が別途必要となります。現行の金額は次のとおりですが、2021年度入学者の金額等については変更することがあります。

金額
15,000円

※金額はテストの実施回数を考慮しています。

※入学時の1回のみ発生する費用です。

【問い合わせ先】教育推進課共通教育担当(TEL 06-6605-2935)

〔月～金曜日(祝日及び休業日を除く)9:00～17:00 ただし12:00～12:45を除く〕

《学修用個人ノートPC(ラップトップ)》

課題レポートの作成などコンピュータの活用を求める科目も多数あることや、授業の履修登録や成績閲覧など教務にかかる事項でも必要になることから、学修用個人ノートPC(ラップトップ)のご準備を推奨いたします。詳細は、別途案内します。

【問い合わせ先】教育推進課(TEL 06-6605-2130)

〔月～金曜日(祝日及び休業日を除く)9:00～17:00 ただし、12:00～12:45を除く〕

〔8〕 注 意 事 項

1 出願及び受験関係について

- (1) 出願に関する事項等について、文書で照会する場合は、志望学部名を記載し、大学運営部入試課あてに送付してください。
- (2) 出願書類に不備がある場合は、出願を受理できませんので十分注意してください。
なお、出願後の登録内容の修正・変更はできません。
- (3) 受験に関する注意事項については、出願受付後に発送する「受験上の注意」を参照してください。
- (4) **受験の際は、本学「受験票」、独立行政法人日本学生支援機構発行の「日本留学試験」の「受験票」並びに本学「受験上の注意」を必ず持参してください。**
なお、本学「受験票」は「合格通知書」の交付日に、独立行政法人日本学生支援機構発行の「受験票」は入学手続日に必要ですので、紛失しないよう保管してください。

2 個人情報の取り扱いについて

本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続関係・選抜方法研究・統計資料作成・本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で収集し利用します。前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。

3 その他事項について

- (1) 出願受理後の出願取消しは一切認めません。また、出願後は登録内容の修正・変更はできません。
- (2) 学力検査等の結果に関する照会には応じません。
- (3) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。
 - ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ・出願書類の不備等により受理されなかった場合
 - ・重複して入学検定料を払い込んだ場合※ 返還の方法等は、出願期間最終日より1か月以内に大学運営部入試課までお問い合わせください。
ただし、15ページの〔5〕「2段階選抜」に記載の第1段階選抜を実施した学部の第1段階選抜不合格者に対しては、入学検定料30,000円のうち26,000円を返還します。この返還方法等については、該当者に対して通知します。
いずれの場合もインターネット出願の手数料は返還対象外です。
検定料の返還については、日本国内の口座に限ります。
日本国内の口座を持たない者は、必ずインターネット出願登録前に入試課までE-mailにて連絡してください。〔入試課：ocu-nyus@ado.osaka-cu.ac.jp〕
- (4) 出願書類等の提出書類に虚偽の記載及び偽造等の不正があった場合、又は入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (5) 入学後の授業等については、日本人学生と同様に取り扱い、講義は基本的に日本語で行いますので、講義を受けるための日本語能力が必要です。
- (6) 「2019年度及び2020年度日本留学試験」の成績について、コンピューターネットワークを利用し、入学試験に関する個人情報の送受信を行います。

◎「日本留学試験」及び個別学力検査等の教科・科目、配点

教科・科目、 配点等 学部・学科	日本留学試験		個別学力検査等		
	科 目	配点	教 科 ・ 科 目 名 等	配 点	
商 学 部 商 学 科 公共経営学科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	450	外国語 (「英語 [コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ]」)	外国語	400
	理科から2科目選択 又は総合科目	200			
	数 学 (コース1又はコース2)	200			
	計	850	口 述 (注1)	計	400
経 済 学 部 経 済 学 科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	225	数 学 (「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」) (注2)	数 学	100
	総合科目	100		外国語	200
	数 学 (コース1又はコース2)	100	外国語 (「英語 [コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ]」を必須として、問題の一部について「英語」「ドイツ語」「フランス語」から1科目選択)	作 文	100
	計	425		作 文 (日本語による) 口 述 (注1)	計
法 学 部 法 学 科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	100	外国語 (「英語 [コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ]」「ドイツ語」「フランス語」から1科目選択) (注3)	外国語 作 文	200 200
	総合科目	50			
	数学 (コース1)	50			
	計	200	作 文 (社会科学一般、日本語による) 口 述 (注1)	計	400

教科・科目、 配点等 学部・学科	日本留学試験		個別学力検査等	
	科 目	配点	教 科 ・ 科 目 名 等	配 点
文学部 哲学 歴史 学科 人間 行動 学科 言語 文化 学科 文化 構想 学科	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」)	200	国語 (「国語総合・現代文B」) 外国語 (「英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕」を必須として、問題の一部について「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」から1科目選択) 作文 (日本語による) 口述	国語 200 外国語 200 作文 100 口述 100 計 600
	総合科目	100		
	数学(コース1)	100		
	計	400		
理学部 数 学 科 物 理 学 科 化 学 科 生 物 学 科 地 球 学 科	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	450	数 学 (「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」) (注2) 理 科 (「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」から2科目選択。ただし、物理学科は「物理基礎・物理」を、化学科は「化学基礎・化学」をそれぞれ必須とする。) (注5) 外国語 (「英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕」) 口 述	数 学 200 理 科 200 外国語 200 口 述 200 計 800
	理 科 (数学科、生物学科、地球学科は2科目選択) 物理学科は物理必須、化学及び生物から1科目選択 化学科は化学必須、物理及び生物から1科目選択	200		
	数学(コース2)	200		
	計	850		
	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	200		
工学部 機 械 工 学 科 電 子 ・ 物 理 工 学 科 電 気 情 報 工 学 科 化 学 バイオ工 学 科 建 築 学 科 都 市 学 科	理 科 (物理及び化学必須)	100	数 学 (「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」) (注2) 理 科 (「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」の計2科目) (注5) 外国語 (「英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕」を必須として、問題の一部について「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」から1科目選択) 口 述	数 学 250 理 科 200 外国語 150 口 述 100 計 700
	数学(コース2)	100		
	計	400		
	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	200		

教科・科目、 配点等 学部・学科		日本留学試験		個別学力検査等		
		科 目	配点	教 科 ・ 科 目 名 等	配 点	
生 活 科 学 部	食品栄養科学科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	100	数 学 (「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学 A・数学B」) (注2)	数 学	150
		理科から2科目選択	150			
		数 学 (コース1又はコース2)	100	外国語 (「英語 [コミュニケー ション英語Ⅰ・コミュ ニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英 語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英 語表現Ⅱ」) 口 述 (注1)	外国語	150
		計	350		計	450
	居住環境学科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	100	数 学 (「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学 A・数学B」) (注2)	数 学	150
		理科から2科目選択 又は総合科目	50			
		数 学 (コース1又はコース2)	50	計	300	
		計	200			
	人間福祉学科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	100	外国語 (「英語 [コミュニケー ション英語Ⅰ・コミュ ニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英 語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英 語表現Ⅱ」) 国語又は数学 「国語総合・現代文B」、 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学 A・数学B」から1教科選 択 (注2・4)	外国語	150
		理科から2科目選択 又は総合科目	50			
		数学 (コース1)	50	計	300	
		計	200			口 述 (注1)

(注1) <口述>は合否で判定し、総合判定の資料とします。

(注2) 個別学力検査等の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲からの出題とします。数学Bは「数
列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

(注3) 個別学力検査等の外国語は、出願時に1科目選択のうえ出願してください。

(注4) 個別学力検査等の国語又は数学は、出願時に1教科選択のうえ出願してください。

(注5) 個別学力検査等の「物理基礎・物理」は物理基礎及び物理の全範囲から、「化学基礎・化学」は化
学基礎及び化学の全範囲から、「生物基礎・生物」は生物基礎及び生物の全範囲から、また「地学基
礎・地学」は地学基礎及び地学の全範囲からの出題とします。

別表 2

◎「日本留学試験」及び個別学力検査等特別日程試験の教科・科目、配点

教科・科目、 学部・学科	日本留学試験		個別学力検査等		
	科 目	配点	教 科 ・ 科 目 名 等	配 点	
商 学 部 商 学 科 公共経営学科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	450	口 述(コミュニケーション能力、 論理的な思考力などにつ いて問う)	口述	400
	理科から2科目選択 又は総合科目	200			
	数 学 (コース1又はコース2)	200			
	計	850		計	400
経 済 学 部 経 済 学 科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	225	口 述 (注1)	—	—
	総合科目	100			
	数 学 (コース1又はコース2)	100			
	計	425			
法 学 部 法 学 科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	100	作 文 (社会科学一般、日本語に よる)	作 文	400
	総合科目	50			
	数学(コース1)	50	口 述 (注1)	計	400
	計	200			
文 学 部 哲学歴史学科 人間行動学科 言語文化学科 文化構想学科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」)	200	国 語 (「国語総合・現代文B」)	国 語 英 語 作 文 口 述	200 200 100 100
	総合科目	100			
	数 学 (コース1)	100	英 語 (「英語〔コミュニケー ション英語Ⅰ・コミュニ ケーション英語Ⅱ・コ ミュニケーション英語 Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表 現Ⅱ〕」)		
	計	400	口 述		

教科・科目、 配点等 学部・学科		日本留学試験		個別学力検査等			
		科 目	配点	教 科 ・ 科 目 名 等	配 点		
理 学 部	数 学 科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	450	数 学 (「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」) (注2)	数 学	400	
		理 科 2科目選択	200				口 述
		数学 (コース2)	200		計	800	
		計	850				
	物 理 学 科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	450	数 学 (「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」) (注2)	数 学	100	
		理 科 物理必須、化学及び生物 から1科目選択	200				理 科 (「物理基礎・物理」) (注3)
		数学 (コース2)	200		口 述 (「英語」含む)	口 述	
		計	850				計
	化 学 科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	450	理 科 (「化学基礎・化学」) (注3)	理 科	400	
		理 科 化学必須、物理及び生物 から1科目選択	200				口 述 (学習意欲、学習能力等 について問う)
		数学 (コース2)	200		計	800	
		計	850				
	生 物 学 科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	450	口 述 (「理科〔日本留学試験の 受験科目〕の学力と学習 意欲、学習能力等につい て問う」)	口 述	800	
		理 科 2科目選択	200				計
		数学 (コース2)	200				
		計	850				
	地 球 学 科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	450	口 述 (「理科基礎」と「英語」 について問う)	口 述	800	
		理 科 2科目選択	200				計
		数学 (コース2)	200				
		計	850				
工 学 部 機 械 工 学 科 電 子 ・ 物 理 工 学 科 電 気 情 報 工 学 科 化 学 バイオ工学科 建 築 学 科 都 市 学 科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	200	口 述 (「数学、理科、英語の学 力並びに学習意欲及び適 正」に関する基礎的事項 について問う)	口 述	400		
	理 科 (物理及び化学必須)	200				計	400
	数学 (コース2)	200					
	計	600					

教科・科目、 配点等 学部・学科		日本留学試験		個別学力検査等		
		科 目	配点	教 科 ・ 科 目 名 等	配 点	
生 活 科 学 部	食品栄養科学科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	100	口 述 (「英語」含む) (注1)	—	—
		理科から2科目選択	150			
		数 学 (コース1又はコース2)	100			
		計	350			
	居住環境学科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	100	口 述 (「英語」含む) (注1)	—	—
		理科から2科目選択 又は総合科目	50			
		数 学 (コース1又はコース2)	50			
		計	200			
	人間福祉学科	日 本 語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	100	口 述 (「英語」含む) (注1)	—	—
		理科から2科目選択 又は総合科目	50			
		数学(コース1)	50			
		計	200			

(注1) <口述>は合否で判定し、総合判定の資料とします。

(注2) 個別学力検査等の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲からの出題とします。数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

(注3) 個別学力検査等の「物理基礎・物理」は物理基礎及び物理の全範囲から、「化学基礎・化学」は化学基礎及び化学の全範囲からの出題とします。

別表 3

◎個別学力検査等時間割

部（学科）	2021年2月25日（木）			2021年2月26日（金）
商学部	—	外国語 13:00～14:40 (100分)	口述 15:00～ (注1)	—
経済学部	作文 10:00～11:30 (90分)	外国語 13:00～14:40 (100分)	数学 15:30～17:00 (90分)	口述 13:30～ (注1)
法学部	作文 10:00～11:30 (90分)	外国語 13:00～14:30 (90分)	口述 14:40～ (注1)	—
文学部	国語 10:00～12:00 (120分)	外国語 13:30～15:10 (100分)	作文 16:00～17:00 (60分)	口述 13:30～ (注1)
理学部	理科 9:20～11:50 (150分)	外国語 13:10～14:50 (100分)	数学 15:40～17:40 (120分)	口述 13:30～ (注1)
工学部	理科 9:20～11:50 (150分)	外国語 13:10～14:50 (100分)	数学 15:40～17:40 (120分)	口述 13:30～ (注1)
生活科学部 (食品栄養科学科)	理科 10:00～11:30 (90分)	外国語 13:00～14:40 (100分)	数学 15:30～17:00 (90分)	口述 10:00～ (注1)
生活科学部 (居住環境学科)	—	外国語 13:00～14:40 (100分)	数学 15:30～17:00 (90分)	口述 10:00～ (注1)
生活科学部 (人間福祉学科)	国語(注2) 10:00～11:30 (90分)	外国語 13:00～14:40 (100分)	数学(注2) 15:30～17:00 (90分)	口述 10:00～ (注1)

(注1) <口述>は、筆答試験の所定の科目をすべて受験した者に対して実施します。

(注2) 国語又は数学のどちらかの教科を選択受験。

別表 4

◎個別学力検査等会場

学 部	試験日程	会 場	所 在 地 ・ 交 通 機 関
商 学 部	2月25日	杉本キャンパス (全学共通教育棟)	◎大阪市住吉区杉本3-3-138 ●JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口からすぐ ●Osaka Metro御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分
経 済 学 部	2月25日	杉本キャンパス (全学共通教育棟)	
	2月26日	杉本キャンパス (経済学部棟)	
法 学 部	2月25日	杉本キャンパス (全学共通教育棟)	
文 学 部	2月25日	関西大学 堺キャンパス	◎大阪府堺市堺区香ヶ丘町1-11-1 ●南海電鉄高野線「浅香山」駅下車、東へ徒歩約1分 ●JR 阪和線「浅香駅」下車、北西へ徒歩約25分
	2月26日	杉本キャンパス (文学部棟)	
理 学 部	2月25日	杉本キャンパス (全学共通教育棟、 2号館)	◎大阪市住吉区杉本3-3-138 ●JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口からすぐ ●Osaka Metro御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分
	2月26日	杉本キャンパス (理学部棟)	
工 学 部	2月25日	杉本キャンパス (1号館・法学部棟)	
	2月26日	杉本キャンパス (工学部棟)	
生活科学部	2月25日	杉本キャンパス (全学共通教育棟)	
	2月26日	杉本キャンパス (生活科学部棟)	

<問い合わせ先>

杉本キャンパス

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号

交通機関：JR阪和線「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口からすぐ

Osaka Metro御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分

●電話番号

商学部	06-6605-2201	理学部	06-6605-2504
経済学部	06-6605-2251	工学部	06-6605-2653
法学部	06-6605-2303	生活科学部	06-6605-2803
文学部	06-6605-2353		

●受付時間

月～金曜日（祝日及び休業日を除く）

9:00～17:00（ただし、12:00～12:45を除く）



大学運営部 入試課

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号

TEL 06-6605-2141 FAX 06-6605-2133